

令和3年6月22日

学校法人三幸学園
大阪ウェディングアンドブライダル専門学校
校長 徳 幸道 殿

学校関係者評価委員会
委員長 齊藤 貴雄

学校関係者評価委員会実施報告

令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 齊藤 貴雄（飛鳥未来高等学校大阪キャンパス キャンパス長）
- ② 楠本 圭子（株式会社オータニコーポレーション 常務取締役大阪事業部長）
- ③ 森崎 成騎（JOB SHOP 株式会社 代表取締役）
- ④ 鄭 由佳（サロンドナチュール 代表）
- ⑤ 坂本 結菜（第8期卒業生）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和3年6月11日（大阪ウェディングアンドブライダイダル専門学校 2号館 404教室）

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

令和2年度 学校法人 三幸学園 大阪ウェディングアンドブライダル専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 生沼 作都

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 齊藤 貴雄

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNo.1のプランナー・コーディネーターとなる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

前年度重点施策振り返り

(両学科について)

◆退学率軽減について

目標数値を5.2%に設定し、施策を行った。

【学校の施策】

・「生徒ファースト」の実践及び生徒指導力の強化

生徒との信頼関係構築が最も退学率低減に繋がるため、「生徒の名前を覚える」「親身に相談に乗る」という基本的なことを全教員で意識・徹底した。また教育開発部より定期的に発信される生徒指導資料を基に担任陣が中心となり実践した。

例年、1回の無断欠席が退学に繋がる可能性が非常に高い為、事前に連絡が無く欠席した生徒がいれば当日中に電話を必ずかけた。また、教科教員にも上記の事を徹底するよう全体会議で共有し、授業時に不在の生徒が居た際は必ず職員室に連絡を入れるように依頼をした。

・1年後期より複数担任制を導入(年度途中からの追加施策)

生徒は自分に合った教員に相談出来るようになり、また1人の生徒に対して複数の教員が関わることでタイムリーに相談に乗れ、悩みを早期に把握することができ、退学抑制に繋がった。

【特記事項】

・2020年度から新型コロナウイルスの影響で、生徒と対面での面談の機会が減少した為、生徒とのコミュニケーションツールとして、メールを活用した。また、生徒面談に関してもできる限り表情が見えるように電話だけでなくメディアで面談を実施した。

・例年は1クラス40名程度の人数だったが、感染防止対策として1年後期より1クラスの人数を30人以下に設定し、座席の間隔も空けた。その結果、1クラス人数を調整したことで教員が生徒の変化に気づきやすくなった。

- ・新型コロナウイルスの影響でインターンシップの回数が減ったことで、例年多く発生する「現実と理想のギャップ」で目標喪失する1年生が少なく、退学者低減にも繋がった。
- ・年度末の緊急事態宣言に伴い対面授業がメディア授業に切り替わり、担任と生徒のコミュニケーションが取りづらくなったタイミングで退学が多く発生した。(2月末の退学率4.9%、3月末6.3%)

【結果】

- ・目標の5.2%には達しなかったが、退学率6.3%で、前年度の8.3%より大幅に低減することが出来た。
- ・卒業生アンケートの「この学校を後輩に勧めたいか」の質問で「勧めたい」と回答した生徒が、目標の数値82%を上回る91.1%であった。(2019年度:77.6%)、「情熱を感じる教員がいる」と回答した生徒が、目標の数値90%を上回る94.5%であった。(2019年度:85.8%)

(両学科について)

◆就職支援について

- ・就職決定率100%を設定し、施策を行った。

【学校の施策】

- ・2020年4月～5月の期間で2年生対象の校内企業説明会を実施予定だった。
 - 新型コロナウイルスの影響で、メディアでの説明会に変更となった。
- ・2021年1月に1年生対象の就職決起会を外部講師の方を招き実施した。
- ・2021年2月に1年生対象の合同企業説明会を校内で実施予定だった。
 - 新型コロナウイルスの影響で、メディアでの説明会へ変更となった。

【特記事項】

- ・「就職対策」の授業内でオンライン面接の注意点や、新型コロナウイルスの影響での就職活動の動き方について指導した。
- ・新型コロナウイルスの影響で、業界のアルバイト求人を除く、求人数が例年であれば約260～280の求人数に対して2020年度は112件であった。
- ・卒業後の就職支援として週に1度学校に登校し、学校求人の紹介及び就職活動に必要な履歴書指導、面接指導、ITリテラシーを学べる体制を整え、希望者を募った(3名希望)

【結果】

- ・就職決定者数は95.8%で未決定者は8名であった。(2019年度:98.9%)

【学校関係者評価委員会コメント】

(両学科について)

(齊藤委員)

- ・通信制高校出身の生徒に関しては、毎日学校へ通うことや、環境の変化についてギャップを感じていると思うので個別で声掛けを行うことが必要だと感じる。
- ・今後も高等学校と専門学校が協力をして生徒のフォローを行っていきたい。

(坂本委員)

- ・学校独自のアプリを使用して求人票をタイムリーに掲載してくれていたのが、就職について相談しやすいと感じた。
- ・求人票によっては企業詳細が書かれておらず担任に相談と書かれたが、意欲の低い生徒はなかなか担任に聞きにいかないので、すべての求人票に企業詳細を書いてあげれば良いと感じた。

(ブライダルヘアメイクアンドドレス科について)

(鄭委員)

- ・今年は昨年と違い、緊急事態宣言中でも挙式が0になることはなかった。業界としてはコロナ過でどう結婚式を行っていくか、といった方向性になっている。
- ・この状況下で新卒が正社員で就職するのはなかなか難しいのではないのかと思う。
- ・貴校の卒業生を3年連続採用しているが、現場で頑張ってくれている。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

（両学科について）

- ・学校の教育理念等は保護者へ周知はされているが、浸透まで至っていない。

② 今後の改善方策

（両学科について）

- ・入学前のオープンキャンパスでの保護者説明会等を含め、入学後の保護者説明会、保護者連絡、定期的な郵送物、行事などで定期的に伝えていく。

③ 特記事項

（両学科について）

- ・学科毎の「行動指針」を作成し、年に4回全教員で振り返り及び現状の把握を実施出来るようにした。
- ・生徒主体の委員会を体系化し、ルーブリック評価を用い、生徒の目指すべき人物像を明確にした。

④ 学校関係者評価委員会コメント

（ウェディングプランナー科について）

（楠本委員）

- ・採用した卒業生をみていて、業界が大事にしている挨拶がきちんとできていると感じる。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

（両学科について）

・office365 のアプリを使用し、メディア授業期間での教員手合わせや、全体伝達事項のタイムリーな情報共有が出来るようになったが、その一方で IT リテラシーが低い教員が多く、実運営出来ていない部分も多くあった。

② 今後の改善方策

（両学科について）

・2020 年度構築された情報システムを学校の現状に合わせて活用し、段階的に取り入れ向上していく。
・IT リテラシーが向上できるようにレクチャー会など勉強できる機会を設ける。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

（ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

（森崎委員）

・現場でも IT リテラシーの低い社員に対して、巻き込み方を試行錯誤している。
・慣れたアプリとして LINE の企業用アプリを使用しているが、プライベートと仕事のすみ分け、送信内容や送信時間の配慮が必要だと感じる。

（ウェディングプランナー科について）

（坂本委員）

・業務効率化について、働いている会場では去年の4月から本格的にペーパーレスになった。紙媒体を使用していた処理もひとつのシステムで処理を行えるようになった。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

(ブライダルヘアメイクアンドドレス科について)

- ・最新トレンドの把握や教員の技術力が不足している。

※例年、外部講師を呼んでヘアメイクの最新技術の研修を行っていたが、新型コロナウイルスの影響で研修を行えなかった。

② 今後の改善方策

(両学科について)

- ・引き続き技術の向上のため、外部講師からの講習会や実技研修会を実施する。
- ・現場の一線で活躍している講師から技術指導の機会を設ける。

③ 特記事項

(両学科について)

- ・授業カリキュラムが体系的に編成されておらず、似通った授業や、現場では実施していない内容の授業もあった為、2021 年度入生徒のカリキュラムについて企業様に監修して頂き、生徒の習熟度をあげる内容に変更する。

④ 学校関係者評価委員会コメント

(両学科について)

(齊藤委員)

- ・卒業生から入学後に悪いギャップがあったという話は聞かない。卒業生を見ていると、ビジネスマナーや社会人になるための学びを行っているためか成長を感じる。

(ウェディングプランナー科について)

(坂本委員)

- ・ブライダルの知識について、座学の授業や、ロールプレイングでの接客練習など豊富な授業があり、就職してからも役立っていると感じる。ロールプレイングの授業はお客様の設定を決めて行うが、より内容を詰めて、具体的な設定し、接客中の言葉遣いを厳しく注意していくとより学びになると感じる。

(楠本委員)

- ・新型コロナウイルスの影響で、実施人数は縮小傾向になり今後も披露宴の形式は変わっていく見込み。
- ・オンラインの結婚式に関しては打ち出しているが利用は少なく、1年半の間に大阪に関してはオンラインで実施したのは1件のみ。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

（両学科について）

- ・新型コロナウイルスの影響で求人数が減っている中で、具体的な対策を立てることが出来なかった。

（ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

- ・美容師免許が必須の企業が多くなってきており、ヘアメイクの職種に就職する生徒が減っている。

② 今後の改善方策

（両学科について）

- ・取引先へできる限り足を運び信頼関係を構築し、今後の求人有無のヒアリング及び業界や企業の情報収集を実施。ヒアリング結果を元に月別求人数等を生徒に提示し、具体的な動き方を導いていく。

（ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

- ・姉妹校「大阪ビューティーアート専門学校・美容科」への本校独自の再入学制度「ステージアップ制度」を周知していく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

（ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

（鄭委員）

- ・美容師免許の有無で仕事に大きな変化はないが、業界として美容師免許が必要になってきている。
- ・ブライダル業界に長くいる予定のスタッフは、入社してからでも美容師免許を取得しているように感じる。

(5)生徒支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
生徒相談に関する体制は整備されているか	4
生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
生徒の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

（両学科について）

- ・保護者との連携が入学当初及び進級時の挨拶のみになっている。
- ・卒業生支援については教員毎で差がある。

② 今後の改善方策

（両学科について）

- ・2020 年度卒業生から就職支援として希望者には求人を紹介、履歴書の添削、面接の練習を実施する。

③ 特記事項

（両学科について）

- ・生徒支援の一環として臨床心理士に学校生活等が相談できる「心の相談室」を設置し、環境を整えた。
- ・就職及び進路指導室「リクルートルーム」にて個別相談を実施。
- ・2021 年度より卒業後の就職支援として未就職者で希望する生徒に週 1 回就職指導を実施する。
- ・新型コロナウィルスの影響で、家計が急変した生徒に関しては状況を確認し、20 万円を支給した。
- ・生徒に修学支援金として一律 3 万円を支給した。
- ・通信環境が整っていない生徒に対して無料でポケット Wi-Fi の貸し出しを行った。
- ・高等学校とキャリア教育の連携としてインターンシップの受入れを行った。

④ 学校関係者評価委員会コメント

（両学科について）

（坂本委員）

- ・3 万円の支給はとても助かった。一人暮らしや、自分で生計を立てている友人は、緊急事態宣言でアルバイトにいけない状態が続いていたので、支給がありとても助かったと言っていた。
- ・メディア授業になったタイミングで、パソコン教室の貸し出しを行っていただいたのも有難かった。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

（両学科について）

- ・インターンシップ前に生徒へ動機付けが十分に行われていない。
- ・インターンシップ受け入れ企業様への実施目的等の説明が不十分であり、協力体制が得られていない。
- ・新型コロナウイルスの影響で防災訓練が行えず、口頭での説明のみになっていた。

（ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

- ・コロナの影響で業務縮小や、人件費削減等の理由によりインターンシップを受け入れてくれる企業様が少なかった。

② 今後の改善方策

（両学科について）

- ・2021 年度入学生からはインターンシップの動機付けの授業を導入する。
- ・改めて各企業様にインターンシップの目的を企業担当教員より説明し、理解して頂く。

③ 特記事項

（両学科について）

- ・前述した通りインターンシップが退学率に影響していることから 2021 年度より実施を任意とする。
- ・防災及び安全管理体制として備蓄品を全校生徒分保管している。
- ・感染防止対策としてディスカッションを実施する授業では飛沫防止パネルを設置した。

④ 学校関係者評価委員会コメント

（両学科について）

（森崎委員）

- ・インターンシップは任意の方が意欲のある生徒が来てくれるので、企業にとっても良いと思う。
- ・インターンシップ生を獲得する為に企業側も説明会を行うなどしても良いと思う。

（楠本委員）

- ・学校の中でしっかり学べる体制ができているので、無理にインターンシップに行く必要はないと感じる。

(7)生徒の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
生徒募集活動は、適正に行われているか	4
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

- ・感染拡大防止対策として来校型のオープンキャンパスだけでなく、自宅から参加できるオンラインでのオープンキャンパスや入試を実施した。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

・現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に
 今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

（両学科について）

- ・個人情報に関しては全て施錠が出来るキャビネットに保管されている。
- ・啓蒙活動の一環として薬物禁止などのポスターは生徒に目に入る場所に掲示している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

（両学科について）

- ・地域住民と連携して清掃活動を行っている。
- ・メイク同好会を設立し、町内の催事などでボランティア活動を行っている。
- ・地域住民へむけて姉妹校合同でWEBでの公開講座を実施した。

（ウェディングプランナー科について）

- ・SDGsの取り組みとして、「ウェディングプロデュース」という行事で「何らかの理由で結婚式を挙げられていない新郎新婦様」を募集し、生徒が準備から当日までプロデュースさせていただき、社会貢献できるように取り組んでいる。また当日使用するストロー等の材料は環境にやさしい素材のものを選定し、環境にも配慮している。
- ・サービス同好会を設立し、技能五輪「レストランサービス」の大阪代表を学校から輩出し、大阪府全体への盛り上げや地域貢献に繋げる取り組みをしている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

（両学科について）

（楠本委員）

- ・全体を通してすごくよくやっていると思う。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価の結果、概ね健全な学校経営及び運営ができていると言える。ただし、細部を正しく見直し、今回の課題を克服できるよう更なる経営努力が必要である。社会のニーズを踏まえた上で、人材育成像に沿った人材を輩出するためにも、教職員の教育はさらに強化していく必要がある。また、関係企業の意見を聞き、企業との連携を深め、社会に求められる専門学校を今後も目指していく。

2020年6月29日

学校法人三幸学園
大阪ウェディングアンドブライダル専門学校
校長 徳 幸道 殿

学校関係者評価委員会
委員長 齊藤 貴雄

学校関係者評価委員会実施報告

2018年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ⑥ 齊藤 貴雄（飛鳥未来高等学校大阪キャンパス キャンパス長）
- ⑦ 楠本 圭子（株式会社オータニコーポレーション 常務取締役大阪事業部長）
- ⑧ 田中 和彦（JOB SHOP 株式会社 ジェネラルマネージャー）
- ⑨ 鄭 由佳（サロンドナチュール 代表）
- ⑩ 福井 万季子（ベルクラシック空港 ウェディングプランナー）
- ⑪ 垣木 美祐（2018年度卒業生）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2020年6月26日（テレビ会議にて実施）

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2019年度 学校法人 三幸学園 大阪ウェディングアンドブライダル専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 陶山 毅

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 齊藤 貴雄 委員

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNo. 1のプランナー・コーディネーターとなる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

前年度重点施策振り返り

(両学科について)

◆退学率低減について

- ・退学率軽減の目標を達成できなかった。
- ・教務力向上のために担任会議を通して研修や教員間での連携は図ったが、結果には繋がらなかった。
- ・生徒のサインに気づくこととして1日以上欠席や無断欠席、遅刻をした生徒に対しての関わり方を変えていく。
- ・保護者にも早い段階で連絡を取り、学校と家庭での両面のサポートをしていく。

(両学科について)

◆卒業生の支援、離職者の把握について

- ・企業担当が把握した卒業生情報を全教職員に周知するため、共有シートに反映していく。
- ・元担任が把握した卒業生情報を全教職員に周知するため、共有シートに反映していく。

学校関係者評価委員会コメント

・齊藤委員(両学科について)

専門学校の担任から高等学校へ細かく卒業生の現状報告がある為、協力してフォローが出来ていると感じる。
欠席した生徒に対してのアプローチに関して、スタートの段階でより細やかなアプローチが必要と感じる。

・垣木委員(両学科について)

在学中欠席した後日に登校すると、担任だけではなく他の教員からも声をかけてもらい、学校全体で1人1人の生徒を気にかけてくれていると感じた。

・楠本委員(ウェディングプランナー科について)

企業担当の教員と企業とが密にやりとりが出来ていると感じるが、離職について学校からお力添えを頂くことは難しいと感じる。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

（両学科について）

・各学科目指す職種以外の就職先に就職する生徒がいてる。

② 今後の改善方策

（両学科について）

- ・就職対策という授業内で、コース毎に目指すべき職種についてのやりがいなどを伝え目標を具体化させていく。
- ・企業担当の教員が企業訪問の頻度を増やし、現場の方から仕入れたリアルな現場の話を生徒へ伝達していく。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・垣木委員（ウェディングプランナー科について）

ウェディングプランナーを目指して入学したが、ヘアメイクの授業を受け、ブライダルメイクへ就職したいと思うこともあった。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

（両学科について）

- ・地域等に対するコンプライアンスが不明確である。

② 今後の改善方策

- ・特になし

③ 特記事項

（両学科について）

- ・Office365 の Teams により全国姉妹校との WEB ミーティングを実施。
- ・Sanko Gate といった生徒用の情報ツールの活用が具体的になってきた。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

(両学科について)

- ・学科や教科ごとで、関連分野に特化した教員研修が実施できなかった。
- ・卒業生アンケートを見ると、入学当初の授業への期待値に対して卒業時点での授業への満足度が低い。
- ・退学を考えた理由で多いのは、職業につながる体系的な学びが少ないことや現代若者の心理や特性をつかみきれないという意見もある。

② 今後の改善方策

(両学科について)

- ・2021年度生向けに現代若者への教育価値観提供など有識者からの教員研修を実施する。
- ・2021年度に向けて体系的な学びを再構築するため、カリキュラムの見直しが実施される。(企業様監修)

③ 特記事項

- ・授業内容は学校にとってとても重要なポイントの為、可能な限り日々見直しをしていきたい。

④ 学校関係者評価委員会コメント

・鄭委員(ブライダルヘアメイクアンドドレス科について)

入社してきた卒業生に関して、仕事に対するモチベーションが高く、ブライダルの知識を専門的に学んでいるのが役に立っていると感じる。

・福井委員(ウェディングプランナー科について)

新規接客をしている際、営業の難しさを感じている。在学中に営業スキルについて学ぶことが出来れば良いと感じる。顧客への提案力に関しては、在学中に学んだ模擬挙式の知識などを活かしている。

・垣木委員(ウェディングプランナー科について)

ハウスウェディングコースに所属していたが、ホテルに就職した。ホテルでは英語で対応することが多くあるので、英会話など諸外国の方とコミュニケーションを取れるための授業に力をいれてもらいたい。

・齊藤委員(両学科)

通信制高校出身者の傾向として、周囲とのコミュニケーションが求められるチームビルディングが苦手なので、授業や学校行事でグループワークをする際、小集団から大集団へと段階的に移行すると良いと感じる。

・楠本委員(ウェディングプランナー科について)

専門性の高い学びが実現できていると感じる。専門学校生に関して企業側は、技術や知識に加え社会性も求めている。社会人としてのマナーも在学中に学んでももらいたい。

・田中委員(ブライダルヘアメイクアンドドレス科について)

人によって技術の取得の速度が全く異なることを念頭に置いて、授業を展開してもらいたい。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

(両学科について)

- ・退学率の向上が図れなかった。
- ・担任が把握している退学理由と、生徒がアンケートに残す退学理由に差が生じている。
- ・卒業後の動向を把握しきれていない。

② 今後の改善方策

(両学科について)

- ・学年主任制により退学理由確認の標準化をはかる。
- ・企業訪問の機会を増やし、卒業生の活躍を把握したうえで指導に役立てることはできると思うので、どこの企業に何年度卒の卒業生がいるかを共有できるシートを作成し、企業訪問の際役立てる。

③ 特記事項

- ・卒業生との繋がりを持つツール(SNS)を作成し、卒業後に卒業生がどうなっているのかなどのアンケートを取れる体制を整えている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

・福井委員(ウェディングプランナー科について)

欠席した生徒に対して担任の働きかけはよくされていたと感じる。夢を持って入学したが、インターンシップ等で業界の厳しい部分を見ることでギャップを感じ退学に至る場合もあると感じる。

・齊藤委員(両学科について)

高等学校で進路指導する際、何のために専門学校に行きたいのかを聞いている。入学後も「どのようなウェディングプランナーになりたいのか」「なぜ入学したのか」を適度に聞き、目標の再確認させてあげられるような働きかけがあれば良いと感じる。

(5)生徒支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
生徒相談に関する体制は整備されているか	4
生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
生徒の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

（両学科について）

・卒業生支援については教員毎で差がある。

② 今後の改善方策

（両学科について）

- ・保護者様とタイムリーな連携を図る。
- ・外部企業との連携をし、卒業生に対する学び直しのセミナー等を実施予定。
- ・卒業生で個人事業主には支援金を実施。

③ 特記事項

（両学科について）

・新型コロナウイルスによる経済支援の為、給付金3万円を全校生徒へ支給。

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・鄭委員(両学科について)

設備を常に最新のものにすることは難しいと感じる。ただ情報は常にリサーチし、最新設備について生徒に伝えてあげることが必要と感じる。

・垣木委員(ウェディングプランナー科について)

在学中に不満を感じたことはない。バンケットルームもリニューアルされており、学びの環境は整えられていると感じる。

・福井委員(両学科について)

在学中、安全に勉学に励めた。就活の情報を見られる場所があれば良いと感じていたので、リクルートルームが新設されて今まで以上に就職支援に力をいれていると感じた。

(7)生徒の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
生徒募集活動は、適正に行われているか	4
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・鄭委員(両学科について)

奨学金を利用する生徒が多い中、国の認可を受け幅広い対応ができていると伺え、安心した。

・楠本委員(ウェディングプランナー科について)

学校が生徒の情報を守るのは勿論大事ですが、生徒をインターンシップ先に送る際、インターンシップ先のお客様の個人情報の取り扱いについて落とし込みを行ってほしい。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・徳島県美馬市でメイク同好会がボランティア活動実施予定。
・レストランのサービスの同好会を新設し、技能五輪出場に向けサービスを学ぶ。

④ 学校関係者評価委員会コメント

・齊藤委員（両学科について）

飛鳥未来高等学校の文化祭に生徒がボランティアに来てくれへアアレンジをしてくれ、大変好評だった。また地域清掃をしている活動も度々見かける。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価の結果、概ね健全な学校経営及び運営ができていると言える。ただし、細部を正しく見直し、今回の課題を克服できるよう更なる経営努力が必要である。社会のニーズを踏まえた上で、人材育成像に沿った人材を輩出するためにも、教職員の教育はさらに強化していく必要がある。また、関係企業の意見を聞き、企業との連携を深め、社会に求められる専門学校を今後も目指していく。